

交番・駐在所整備3ヵ年計画の策定について

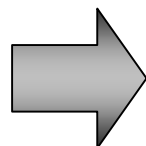
3ヵ年計画策定の趣旨

1 現状

これまで単年度毎に整備計画を策定

2 問題点等

- 「もっと早く知らせて欲しかった」という地域住民の声
- 短期間での施設建設用地の確保が困難



- 地域住民が賛否を検討する時間の確保
- 施設建設が相応しい用地の確保

交番・駐在所を取り巻く現状

○ 交番・駐在所の実態

築30年以上の施設

- ・ 交番 38箇所中4箇所 (10.5%)
- ・ 駐在所 131箇所中33箇所 (25.2%)

○ 治安情勢

- ・ 犯罪の広域化、スピード化、都市部への集中
- ・ サイバー犯罪、ストーカー、振り込め詐欺、声掛け事案等新たな形態の犯罪の増加

交番・駐在所整備の基本的考え方

○ 警察力の適正配置

- ・ 事件捜査体制、交番等の夜間体制、自動車警ら係等の機動力の強化
- ・ 道路交通網の整備により警察署や隣接交番との移動時間が短縮されたことによる配置の見直し

○ 老朽施設の整備